

環境・安全シンポジウム 2007
—大学の実験における安全教育と安全管理—

主催 日本化学会 環境・安全推進委員会

日時 平成 19 年 3 月 27 日 (火) 13 時 30 分～17 時
会場 日本化学会第 87 春季年会 (2007) 関西大学千里山キャンパス
S 4 会場 (第二学舎 3 号館 E 201 教室)

国立大学法人化に伴って従来以上の対応が迫られている安全教育と安全管理の実際、とりわけ大学低学年における学生実験の安全教育例を紹介するとともに、学生実験および研究実験時の安全対策と、それに係わる責任と罰則規定について専門家の解説を聞く。また、海外の大学における安全管理と安全教育の実際例について最新情報をもとに紹介する。

内容

13:30-13:45 開会挨拶 (前 環境・安全推進委員会 委員長) 小尾欣一
13:50-14:25 大学低学年における学生実験の安全教育 (東大総合文化) 下井 守
14:30-15:05 教員および大学の安全管理上の責任
(労働安全衛生コンサルタント) 阿部龍之
15:10-15:45 海外の大学における安全管理と安全教育 (東大環境安全セ) 刈間理介
15:55-16:55 パネルディスカッション (総合司会 東工大院理工) 市村禎二郎

参加費 無料。講演資料代：2,000 円 (当日徴収)。

申込 当日 13 時から会場にて受付いたします。

定員 100 名 (満員の場合はご入場をお断りすることもあります)

問合先 企画部 保倉 電話 03-3292-6163 E-mail hokura@chemistry.or.jp

(ご案内) 環境・安全シンポジウム併催行事として開催予定の「第 1 回環境・安全問題見学会」は定員に達したため、申し込みを締め切らせていただきました (平成 19 年 3 月 28 日 (水) 9 時 40 分～12 時、住友化学 (株) 有機合成研究所 (大阪市此花区春日出中 3-1-98)、集合：J R ゆめ咲線 (桜島線) 安治川口駅改札口)。